

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年(令和4年)11月17日(木) 午後3時30分から午後5時30分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：17人(総数 23人) 出席者： 畠山会長、三觜副会長、徳江副会長、甘粕副会長、 澁谷副会長、甘粕(勇)委員、飯森委員、小川委員、 甲斐委員、近藤委員、藤原委員、渡辺委員、岩田委員、 岡田委員、山口委員、保川委員、福島委員 事務局：6人(出席者 横田センター長、森井主幹、関口、下間、 國松、富樫)
報 告	3 報告(資料1) (1) 前回全体会について 議事録の確認 (2) 各部会等からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 ボランティア体験会について次年度は、年度内2回実施する(予定)。ふれあいまつりは、展示を行ったが、以前のようなカフェ形式での実施が効果的。委員会にもぜひ見学に来てほしい。 イ 青少年健全育成部会 情報交換会は、子どもの防災について“ふじさわ防災ナビ”を中心に、情報交換会を行う。 ウ 郷土文化推進部会 11月9日に鎌倉市立山崎小学校の授業で片瀬こまの紹介を行う。11月11日に実施する片瀬公民館との共催事業の最終確認を行った。 エ 広報ワーキング 片瀬地区ポータルサイトの再起動、地区集会、回覧ちらしについての検討。岩田委員がオブザーバーとして参加。 ポータルサイトは、長年、更新されていない状況。地域団体ごとの広報担当者により記事の掲載をしたほうが、団体ごとの特徴が生かせるサイトになると考える。今後、各地域団体を対象に操作学習会を開催するなどの検討予定。 地区集会に向けて、どの様に関わるか検討。 より見やすい回覧について次回の役員会で提案する予定。

<p style="text-align: center;">報 告</p>	<p style="text-align: center;">まちづくり協議会が所有するPCもあることから、ポータルサイトの操作方法など個別に支援を行うことも可能。</p> <p>(3) 地域団体からの報告</p> <p>ア 生活環境協議会 10月18日に開催された市民大会で、片瀬地区の西浜公園愛護会が団体として表彰を受けた。ふれあいまつりの結果報告。 11月20日開催の1日清掃デーへの積極的な参加依頼。</p> <p>イ 片瀬地区自主防災協議会 12月3日に開催される第31回片瀬地区総合防災訓練への参加依頼。</p> <p>ウ 片瀬地区老人クラブ連合会) 小田急市民ギャラリーにおいて、11月20日から27日まで趣味展が開催。</p> <p>エ 片瀬地区防犯協会 J J B C主催の体験会を通じて1名が、安全・安心ステーションの活動に加入。</p> <p>オ 片瀬地区社会福祉協議会 12月14日に片瀬山交番の佐武氏を招き、特殊詐欺についての講演会を開催。</p> <p>カ 片瀬地区子ども会連絡会 東り町アートフェスに子どもたちが制作した作品が展示されている。</p> <p>(4) 辻堂地区郷土づくり推進会議役員との交流について 辻堂市民センターにて役員との情報交換を行い、防災のことも中心に議論した。また今後も継続して交流を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">議 題</p>	<p>(1) 令和4年度地区集会について (資料2)</p>
<p style="text-align: center;">議題での検討事項・意見</p>	<p>(1) 令和4年度地区集会について</p> <p>①役員会での協議を踏まえ企画(案)(資料2)を作成。具体的な内容は、全体会で検討・決定し、スケジュールに基づき進めていきたい。</p> <p>②地域住民が知りたい事として、日々の暮らしに関する情報、困ったときに役立つ情報が一番であり、紙媒体での発信も必要だが、片瀬地区ポータルサイトを再起動し、住民に身近な情報発信源となることも大切である。</p> <p>テーマ「情報」に対しての方向性について意見交換。 主な意見。 ・デジタル推進室に市のデジタル化に向けての取組みを説明してもらいたいが、あわせて、広報ふじさわの作成の取組みについても聞いてみたい。</p>

- ・地域住民がいつでも情報を入手でき、電子での申し込みができるようにしたほうが良い。
- ・人によっては申込ができない場合もあるのでできない人への対策も講じる必要がある
- ・「情報」の発信により、地域住民の生活に潤いを持たせるようになることが必要。
- ・地域の魅力発信も必要だが、まず、地域住民が必要と感じている情報を更新していくことが大切。
- ・市内や他市で先進的な取組みを行っている団体を講師として招き、講演を行った後、片瀬地区に落とし込み参加者みんなで考えるのも良い。
- ・まちづくり通信をもっと充実させたほうが良い。また、他の方法での発信も必要。
- ・SNS等が活用できれば情報発信の効果が高まる。まちづくり協議会や地域団体の活動の写真をアップロードするだけでも効果が高い。自治町内会に加入しておらず紙媒体の行き届かない方にも情報が届けるようになれば良い。
- ・自分が必要な情報のみ取得できれば良い。
- ・まちづくり通信だけでなく、他の方法で情報発信をすることも大切。
- ・ゴミ分別アプリなど、すでにデジタル化されている藤沢市のサービスもあり、アナログとデジタルが使い分けられている。「情報」というテーマだと広すぎるので、もっとクローズアップして取り上げるべき。
- ・地域回覧など、デジタルで見られれば良い。自治町内会の広報担当者は、回覧の数量が年々増えていくので苦労している。SNS発信などで済めばよいものはデジタル化していくことも大切。
- ・地区集会に向けてどのようにしていくかを話していくことが必要。
- ・テーマについて行政、片瀬地区の情報どちらを主にしていくか絞らないとまとまらなくなってしまうのでうまくリードしないとまとまらない。
- ・地域住民が、片瀬地区の「情報」に対してどのように思っているかについて、参加者の考えを集約し、紹介することが第1ステップと考えれば、次回以降の地区集会も同じテーマで継続して取り上げ、様々な視点で意見の集約をする形式でもよい。今回は、第1ステップとして講義形式の開催でも良いのではないか。
- ・地区集会に向けて、ワーキンググループだけの負担にならないよう、活動を継続していくことができるようにする必要がある。
- ・身近な意見を聞くにはグループトークの形式が良い。
- ・地域住民に回覧を見てもらいやすくするよう、見せ方を工夫する必要がある。
- ・地区集会を行った結果の報告などをまちづくり通信で報告するとともに、実際に実現した事例などを取り上げても良い。

<p>議題での決定事項</p>	<p>情報＝回覧。 「回覧」から情報の発信や受取り方法などを考える。 ・市や他地区での取組みなどの講演（市デジタル推進室） ・グループトーク形式をとり意見集約 ・地区集会での意見から課題を整理するなど、次年度の広報ワーキングの活動に繋げていく</p>
<p>次回までの確認事項</p>	<p>片瀬地区の情報発信の課題などの検討。 地区集会においてデジタル推進室に市や他地区の取組みの講演、全体会への出席を依頼する。</p>
<p>その他</p>	<p>5 その他 民生委員児童委員協議会から選出されている小川委員について、11月末をもってまちづくり協議会委員を退任。</p>
<p>次回会議 開催日時・場所</p>	<p>全体会 日時：2022年（令和4年）12月15日（木） 午後6時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール</p>